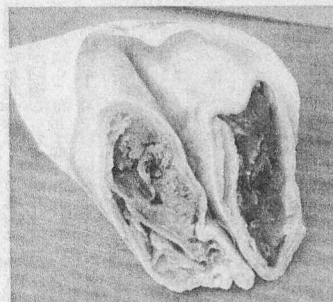


高田大隅の「がんバーグ」

陸前高田市・高田大隅
つどいの丘商店街

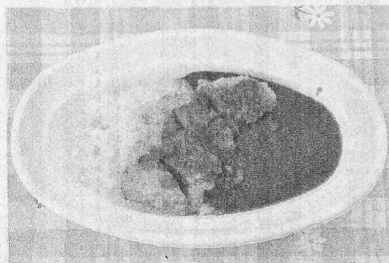
市内産リンゴなど7
種類の食材を使ったス
ープハンバーグ。



気仙沼サンマティーヤ

気仙沼市・気仙沼復興
商店街南町紫市場

カレー味とトマトソ
ース味のサンマの甘露
煮入りトルティーヤ。



南三陸さんさんタコカレー

「お客さん、いかがですか」。威勢のいい掛け声で、自慢の一品を来場者に勧める出店者。21日、大船渡市大船渡町・おおふなと夢商店街



心つなぐ笑顔の一杯



「おいしいね」。各店自慢のメニューを母親の手からおいしそうに頬張る子ども

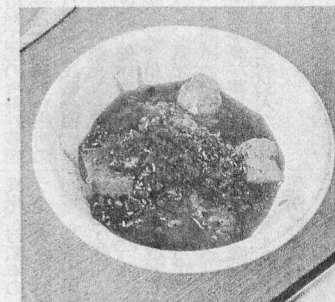
岩手、宮城県両県の仮設商店街が参加する第2回復興グルメF1大会(おおふなと夢商店街、NPO法人AMDA・岡山市)主催。は21日、大船渡市大船渡町のおおふなと夢商店街で開かれた。復興に向け商店街同士の交流や活性化につなげようと、北は大船渡町から南は宮城県石巻市まで11団体が参加。地元の特産品を生かしたオリジナルメニューを販売し、会場は出店者の熱気がクランプリに選ばれた。投票の結果、おおふなと夢商店街の「大船渡さんまはっこん」



大船渡さつまコロッケ

大船渡町・チーム大船渡

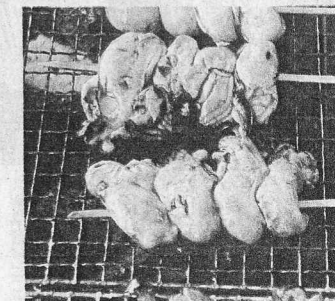
地元産のサケと野菜入りのさつま揚げをコロッケ風に揚げ、みそソースで味付けした。



エメラルド麻婆丼

大船渡市・地ノ森ヒルズ

鶏がらベースのスープと地元産の豆腐を使ったマーボー丼に、めかぶをトッピング。

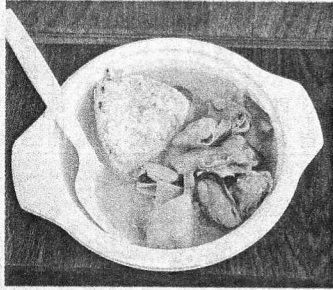


三陸ハッケン焼き

大船渡で復興グルメ大会

宮城県南三陸町・南三陸
さんさん商店街

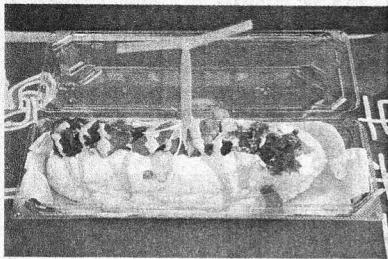
タコにパン粉をまぶして油で揚げた「タコカツ」入りカレー。



雄勝湾カレー

宮城県石巻市・おがつ店こ屋街

地元産のカキ、ムール貝、ホタテのひもなどをふんだんに使ったグリーンカレー。



おしかモビードック

宮城県石巻市・おしかのれん街

ツチクジラの竜田揚げとキャベツ、トマトなどの野菜をパンで挟んだ。

雨模様の中、多くの来場者でにぎわう復興グルメフェー1大会の会場



1500人来場
商店街熱く

約1500人が来場。1枚300円のチケットを購入して各店舗のメニューを食べ比べ、おいしいと思う一品に割り箸で投票した。朝から降り続く雨に負けじと、出店者は威勢の良い掛け声で自慢のメニューをPR。一ついかがですか、「こちも食べていって

大船渡市・地の森八軒街

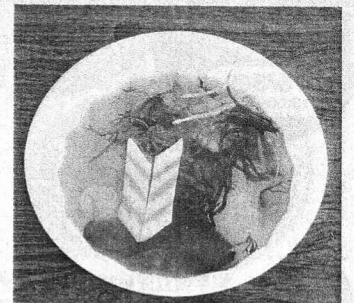
大船渡湾の大粒のカキにゆで汁としょうゆで作ったたれを絡め、炭焼きにした。



横丁パスタ

大船渡市・復興大船渡
プレハブ横丁

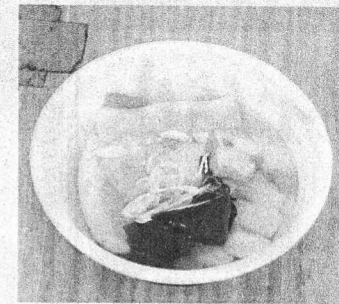
地元のサンマや恋し浜ホタテを使い、トマトソースを麺に絡めた。



ヤルキ磯雑煮

陸前高田市・再生の里
ヤルキタウン

海藻やゴボウなど気仙地方の食材をふんだんに使った、よもぎ餅を入れた雑煮。



大船渡さんまばっとう

大船渡市・おおふなと夢商店街

サンマのすり身をギョーザ風に包み、塩ベースの汁に入れたはっとう。

さんまばっとう優勝

地元大船渡「夢商店街」工夫重ね再出品

雨中の熱戦を制したのは、地元大船渡市のおおふなと夢商店街が出品した「大船渡さんまばっとう」。同市特産のサンマのすり身をギョーザのようにすいとんで包み、もちもちとした食感が人気を集めた。「サンマのすり身を

生かしたメニューを「夢市」で販売する方向。メニューづくりの中心となったカフェ店経営者、下館博美さん(50)は「メニューづくりの形をしたお金のせり生み出した。地元の方にうれしい」と喜んでいた。今後は、毎月8のつく日に同商店街で開く

など声を掛け、グランプリを目指した。家族4人で訪れた大船渡市日頃市町の看護師佐藤誠子さん(36)は「魅力的なメニューがたくさんあり、町全体が盛り上がる企画で感心した。次回は宮城県庁舎で開かれる。

しい」と笑顔。同市大船渡町の地の森八軒街で営業する高城君子さん(53)は「お客さんからたくさん元気をもらった。復興に向けた良い機会にしたい」と力を込めた。

同大会は復興に向け、商店街同士の情報交換や交流を図る目的で企画。1月には気仙沼市で開き、本県では今回が初開催となった。次回は宮城県庁舎で開かれる。

地域愛にじむ逸品／食べ歩き交流堪能

記者の舌

「合い、一気にかきこんだ。まだまだ食べたい」「がんばく」は生のリンゴがハンバークの甘さを引き立て、だし汁とさっぱりした。横丁パスタはサンマ、イカ、タコと海産物たっぷり。焼いた麺に味がよくしみている。どれも地元食材を組み合わせて、地域愛にじむ逸品ぞろいだ。

表彰式で各地の店主が「商品を紹介し、食べてもらうのがうれしい」「復興に向け、各地の仲間と進みたい」とスピーチした。大会の意義をかみしめ、おなかも胸もいっぱいになった。

(大船渡支局・内城俊充・及川慶修)

海の手、山の幸を愛する食いしん坊記者と食いしん坊見習いの2人で、県内商店街を中心に復興グルメを食べ歩いた。地元食材を知ってもらい、商店街をPRしようとする参加者の熱意に触れ、各地の自慢の味を堪能した。

食欲をそそる香りたてよう特設会場。鮭じりまコロッケは、さんまの衣とサケのうまみが詰まった。ま揚げが美味。3種類のみそだれから味を選べるのもうれしい。威勢のいい掛け声につられて箸を取ったのはヤルキ磯雑煮。海藻とよもぎ餅など、ボリューム満点だ。さんまばっとうはサンマのすり身が入った具の食感が絶妙。季節外れの寒さの中、お母さんたちの「ありがと」の声に心も温まった。

三陸ハッケン焼きは、ぶりぶりのカキにしょうゆだれがマッチング。「飯が欲くなり、エメラルド麻婆丼をいただきます。メカアのどろみどろみ